

令和元年第2回東浦町議会定例会 一般質問通告一覧表
令和元年6月10日（月）・13日（木）

日	順位	質問議員 (頁番号)	質問事項
10 日 (月)	1	鏡味昭史 (P 2)	1 東浦町家庭系可燃ごみ処理有料化について 2 東浦の安心、安全なまちづくりについて
	2	山下享司 (P 4)	1 町長の次期東浦町長選挙に立候補する決意表明について 2 公共下水道の進捗について
	3	山田眞悟 (P 5)	1 神谷町長3度目の町長選挙にあたって「立候補決意表明」に対する評価をどう受け止めるかについて 2 森岡保育園の移転計画について
	4	間瀬宗則 (P 6)	1 緒川新田まちづくりの施策について 2 町運行バス「う・ら・ら」について
	5	長屋知里 (P 8)	1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について
	6	杉下久仁子 (P 10)	1 ごみ袋値上げ見直しを 2 住宅耐震化の促進と、減災化に向けた実効性ある対応へ 3 投票所における社会的少数者（マイノリティ）への配慮を
13 日 (木)	7	大川晃 (P 12)	1 投票率の向上について 2 安心する避難所について 3 地元商工業者の育成について
	8	水野久子 (P 14)	1 町道吉田線について 2 防災、避難所に関するアンケートについて 3 東浦町景観条例について
	9	秋葉富士子 (P 17)	1 可燃ごみの減量化の取り組みについて 2 ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯への支援の取り組みについて
	10	田崎守人 (P 19)	1 道路・交通の東西軸の考えは 2 路面の交通規制標示の改修は 3 プラスチック製容器包装（資源ごみ）の回収回数検討を
	11	向山恭憲 (P 21)	1 太陽光発電設備設置適正化の条例制定を
	12	米村佳代子 (P 23)	1 自転車の安全利用・自転車保険加入促進の取り組みについて 2 新生児聴覚検査（スクリーニング）の取り組みについて 3 障害者手帳のカード化について 4 東浦町住民のパスポート（旅券）の申請・交付窓口設置について

質問順位 1 12番議員 鏡味 昭史 (親和会)

1 東浦町家庭系可燃ごみ処理有料化について

平成 30 年第 2 回 (6 月) 定例会により、東浦町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について議決されました。

ごみを出す人が出す量に応じてごみの一部を手数料として負担していただく家庭系可燃ごみの処理を有料化する制度で、可燃ごみの減量化、住民負担の公平性、財政負担の軽減を目的に条例改正されました。そして、家庭系可燃ごみ処理有料化の説明会が今年の 9 月 9 日から 12 月 15 日までの間、森岡始め各地区で 86 回開催されました。

そこで、次の項目を質問します。

- (1) 東部知多衛生組合の構成市町である大府市、豊明市、阿久比町の間で、なぜ足並みを揃え無かったのか。また、その 3 市町はいつから手数料を徴収していく動向なのか伺います。
- (2) 昨年行った説明会の参加者は何名で、地区ごと及び町全体において人口比でどの程度の参加割合となったのか。また、町民に十分に周知できた説明会であったと考えているのか伺います。
- (3) 今年の 4 月 1 日から施行され 2 ヶ月ほど経過しているが、1 人 1 日当たりの家庭系ごみの排出量は、東浦町 2016 年度 (平成 28 年度) 実績 528 g に対し、20% 削減した場合の想定は 429 g であるが、4 月、5 月、2 ヶ月の実績を伺います。
- (4) 今年の 4 月 1 日から町指定のごみ袋の色が青色から白色に変更となり、5 月に入ってもごみステーションに青色の袋で出している方が一部で見られますが、その対応について伺います。
- (5) ごみステーションについて、ルール違反のため青色の袋にシールを貼り放置することにより、猫やカラスなどの動物類が袋を破り、ごみステーションの近所の住民からごみの散乱や悪臭の苦情がありますが、その対策について伺います。

2 東浦の安心、安全なまちづくりについて

滋賀県大津市では今年の 5 月 8 日に県道交差点で 2 台の車が衝突し、そのはずみで車が歩道に突っ込み 16 人の死傷者がでる大事故が発生しました。また、愛知県西尾市では 5 月 10 日に市道交差点で 2 人を巻き込んだ事故が発生し、2 日後に母親が亡くなる痛ましい事故が発生しています。警察庁では危険箇所を発見するため、交通安全の確保に向けた道路環境の改善に取り組むよう各都道府県警察に求めています。

中学生は、東浦町内の道路で、国道 366 号石浜豆搦川橋南から藤江半田市境までの区間について、東浦中学校への通学路として国道を利用して通学をしています。現道の路肩幅員は、電柱も立っていることから狭いところでは 50cm もないところもあり非常に危険なところを毎日通学し、安心、安全に通行が出来ていない状況です。

そこで、次の項目を質問します。

- (1) 国道 366 号石浜豆搗川橋南から藤江半田市境までの現道の拡幅や歩道設置について計画があるのか。また、都市計画道路大府半田線の計画があるのか伺います。
- (2) 国道 366 号と町道 210 号線との交差点改良（生路コミュニティセンター等への出入口付近）及び町道 210 号線の拡幅計画があるのか。また、国道 366 号と町道 227 号線との交差点改良（生路郵便局等出入口付近）及び町道 227 号線の拡幅計画があるのか伺います。
- (3) 東浦中学校の移転について、生徒の利便性や通学の安全性等の確保から東浦中学校区の中央部の位置に移転する考えはないのか伺います。

質問順位 2 15番議員 山下 享司 (親和会)

1 町長の次期東浦町長選挙に立候補する決意表明について

令和元年第3回東浦町議会臨時会の開会のあいさつにおいて、神谷町長は次期町長選挙に立候補する決意を表明されました。その中で、過去2期8年の自身の実績を述べられています。その内容について確認する事項を伺います。

(1) 東浦町の経済・財政を左右する中小企業・小規模事業者について

ア. 支援する目的、指導及び成果は。

イ. 毎年開催されている「町長を囲んでの懇談会」について、その内容と成果は。

(2) 美しい町の景観づくりについて、現況は。将来の東浦町の姿をどう描いていますか。また、景観づくりをすることで、町の財政は潤う要因となりますか。

(3) 未利用地の売却について、過去5年間の売却地の所在及び金額は。また、現在進行中の案件は何件で、地名は。

(4) 将来にツケを残さない持続可能な行財政運営を目指し、平成23年から平成29年までの間で33億円の町債残高を減額できたとしています。これは言葉を返せば大型公共事業を行ってこなかったとも受けとれます。公共施設や道路などの利便性が向上していないと思いますが、どのように考えていますか。また、その公共事業に携わる町内事業所に対してどのように思っていますか。

2 公共下水道の進捗について

町は自然環境・住宅環境を守り、環境衛生を向上させるための重要な施設として、公共下水道事業を進めています。衛生的で快適な生活を送ることができるこの事業について伺います。

(1) 各地区での事業は何年から開始で、何%終了していますか。

(2) 全体の普及率は何%で、今後はどの地域へ事業を進めますか。

(3) 下水道接続率について、普及率は何%ですか。

(4) 住民に対して、下水道の供用開始に係る接続への周知はどのようにしていますか。また、年何回行っていますか。

(5) 町内に在住する町職員が居住している建物の接続状況は。

(6) 神谷町長が現在住まわれているご自宅は、下水道接続をしていますか。

質問順位 3 4番議員 山田 眞悟 (庶民倶楽部)

1 神谷町長3度目の町長選挙にあたって「立候補決意表明」に対する評価をどう受け止めるかについて

次期町長選挙立候補決意表明の中で、①財源の安定的確保、②退職金の受け取りはしない、③小中学校普通教室へのエアコン設置、④小学校水泳教室プールの民営化で教員の負担軽減、⑤町運行バス「う・ら・ら」の路線変更とダイヤ改正などそれぞれ良として評価できる。

一方、酷評として以下3点の対応を求める。

- (1) 4月からのごみ有料化は酷評である。町民のより多くの支持を得るために、元の制度に戻すことが求められる。その見解を伺う。
- (2) 景観事業ではイオンモール東浦の増床工事は景観事業の意向が十分取り込まれ町長は自慢しているようだが、その一方で明徳寺川周辺を景観形成重点区域の指定を得るために地権者の意見交換会を持ったものの、十分な理解と協力が得られないままになっている。先の3月議会では景観計画変更業務委託料312万円余の削除に係る修正案が僅差で可決された。町当局は「粛々と計画を進める」としているが一旦白紙に戻す考えはないか伺う。
- (3) 緒川新田地区の名古屋半田線バイパス建設と区画整理事業を一体にして事業を進める状況は暗礁に乗り上げたままで前には進まない。事業を別々に行うことが解決策の早道と考える。当局の見解を伺う。

2 森岡保育園の移転計画について

- (1) 町道吉田線の拡幅計画、老朽化による森岡保育園の更新計画、移転計画の進捗状況及び森岡西保育園との一体計画を伺う。
- (2) 移転後、保育園の民営化計画が検討されているようだが、東浦町の自慢できる「幼保一元化の保育」には民営化はなじまないと考える。公営運営での存続の見解を伺う。

質問順位 4 7番議員 間瀬 宗則 (清流会)

1 緒川新田まちづくりの施策について

緒川新田地区は、東浦町のどの地域よりも人口減少が著しく、さらに児童数は10年前に比べ約4割減少している実態の中、将来に向けたまちづくりが重要な課題です。

本年3月定例会の三浦議員の質問の答弁で、緒川新田まちづくりの施策については町が推進する土地区画整理事業の立ち上げや、県が施工する緒川植山交差点以西の都市計画道路知多刈谷線の整備を進めているとのことでした。

長い年月をかけている都市計画道路名古屋半田線については、東海市南加木屋駅付近の工事が完了すると、阿久比町の一部と緒川新田地内の工事が残るだけになると認識しています。しかし、一部の地権者の方の同意が得られる見通しが立たない状況で時間が経過しています。

緒川新田のまちづくりを進める上で柱となる土地区画整理事業について、今一度基本的なことの理解を深めることが大切であるという観点で、以下5点について質問します。

- (1) 土地区画整理事業とは、そもそもどういう事業か伺います。
- (2) 土地区画整理事業でよく耳にする「換地」、「減歩」とはどのようなものか伺います。
- (3) 土地区画整理事業のメリット・デメリットは何か伺います。
- (4) 土地区画整理事業について、町はどのくらいの実績があるのか。また、これまでの土地区画整理事業は概ねどの位の減歩率で進められてきたのか伺います。
- (5) 緒川新田の土地区画整理事業について、道路整備、公共施設の整備、通学路の安全対策、買物できる店舗等、どのような事業計画か伺います。

2 町運行バス「う・ら・ら」について

町民にとって「う・ら・ら」は、重要な移動手段として定着しています。緒川新田の東ヶ丘団地は約1,500世帯、3つの地区で構成されていますが、今まで「う・ら・ら」の乗り入れがなかった上高根台は地元から長年の要望がありました。

本年10月から町内を循環するルートへ見直しを行う中で、乗り入れが実現予定となったことに感謝します。しかし、名鉄河和線巽ヶ丘駅や知北平和公園への乗り入れが実現できなかったことは残念であり、将来の課題と考えています。

運行ルートやダイヤ変更の周知を徹底して、利用者の増加を図ることがまず必要ですが、将来の課題についても第6次東浦町総合計画の早い時期に実現できるように今から準備を進め、さらに利便性の高い公共交通にすることが重要と考え、以下5点について質問します。

- (1) 今回の運行ルート、ダイヤ変更のポイントと、経費がどの程度増加するのか伺います。

- (2) 周知はいつからどのような方法で行うのか。関心を高め、利用増に繋げる手段としてセレモニーなどを行う考えがあるか伺います。
- (3) 新たな利用促進策として、どのようなことを考えていますか。
- ア. 時刻表が複雑で見づらいとの意見がありますが、改善の方策を伺います。
- イ. 循環方式を活用し、町内の史跡を巡る企画乗車券発行等の考えがあるか伺います。
- (4) 新設されるバス停を含め、待合所や道路横断など安全面等の配慮が必要なバス停の対策について伺います。
- (5) 第6次東浦町総合計画の町運行バス「う・ら・ら」の充実の実施内容について具体策を伺います。
- ア. 巽ヶ丘駅は、地域の拠点となる駅であり、現在民間バスが乗り入れて通勤、通学などの貴重な手段となっています。共存することが前提ですが、民間バスが運行されていない平日昼間時間帯の「う・ら・ら」乗り入れの考えを伺います。
- イ. 知北平和公園は東海市、大府市のコミュニティバスが乗り入れています。近隣市町のつながりができ、まちの新たな魅力や活力が生まれる可能性が高い場所ではありますが、「う・ら・ら」乗り入れの考えを伺います。
- ウ. 中型車両、小型車両で運行する循環ルート近傍において、新たに導入予定である小型車両のみなら走ることが可能な地域へ乗り入れようとする、中型車両ルートと小型車両ルートを変える必要があると考えますが、考えを伺います。

質問順位 5 13番議員 長屋 知里 (親和会)

1 コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) について

現代社会においては、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、また、核家族が一般化することにより家庭内で社会性を育むことが難しくなり、家庭教育の限界が懸念される中、学校と家庭のみでなく、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されている。これらの課題解決及び未来を創造し、担っていかなくてはならない子どもたちの豊かな成長のためには、地域社会で見守り、育てる教育の実現が不可欠と考えられる。

文部科学省は、コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) 設置の努力義務化やその役割の充実などを内容とする「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正 (平成 29 年 4 月 1 日より施行) に基づき、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みを推進し、すべての公立学校がコミュニティ・スクールを導入することを目指している。

一方で、愛知県におけるコミュニティ・スクールの導入・推進状況 (平成 30 年 4 月 1 日現在) においては、コミュニティ・スクールを導入している学校設置者数は 4 教育委員会 (一宮市・江南市・北名古屋市・あま市)、学校運営協議会を設置している学校は 88 校 (小学校 61 校・中学校 27 校) で、いずれも 10%未満となっており、他都道府県に比べ低く推移している。

そこで、コミュニティ・スクールについて、本町の教育的観点を伺う。

- (1) 本町教育委員会におけるコミュニティ・スクールについての見解を伺う。
- (2) 学校運営協議会の主な役割とされる以下 3 点について、本町教育委員会の見解を伺う。
 - ア. 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 - イ. 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる。
 - ウ. 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。
- (3) コミュニティ・スクール導入のメリットとデメリットについて伺う。
- (4) 愛知県のコミュニティ・スクールの導入・推移が低いことについて、考えられる要因を伺う。
- (5) コミュニティ・スクールにおいては、「地域とともにある学校づくり」を目指している。そのため、画一的なものではなく、地域 (市町) によって異なることは至極当然であり、導入にあたっては独自性が問われると考えられるが、講じることができる方策及びすでに講じている方策について伺う。
- (6) 市区町村教育委員会の役割としては、地域との連携・協働体制を確立するため、コミュニティ・スクールの推進を支援することが求められており、保護者や地域住民等に対しても、取り組みの必要性や成果を広く周知するなど、学校への理解と参画を促す環境づくりが重要とされている。この周知と環境づくりへの手法に

ついて伺う。

(7) コミュニティ・スクールの導入は、本町の子どもたちの基礎学力向上の施策の一つとなり得るか伺う。

質問順位 6 2番議員 杉下 久仁子（日本共産党ひがしうら）

1 ごみ袋値上げ見直しを

今年4月1日から始まった、家庭系可燃ごみ手数料の有料化によるごみ袋値上げに対して、現在でも住民から見直しを求める声や意見が多く寄せられている。

ごみの処理は本来、住民税でまかなう行政サービスの一つであることを踏まえ、以下に質問する。

(1) 新しいごみ袋の使用が始まり、約2ヶ月が経過したことについて

ア. 実施後、住民からの苦情や意見はどうか。

イ. 可燃ごみ、資源ごみの排出量は2015年、また2018年の同じ時期と比較し、どうなっているか。

ウ. この間のごみステーションでの変化と実態はどう把握しているか。

エ. 新しいごみ袋の強度不足改善と極小サイズの導入の要望があるが、どのように考えているか。

(2) 実施後でも、住民からはごみ袋の値上げ見直しの要望が強い。見直しの意思はあるか。

2 住宅耐震化の促進と、減災化に向けた実効性ある対応へ

今後30年以内の南海トラフ巨大地震の発災率が70%といわれる中、住宅耐震化の促進・減災化へより実効性のある対策が求められている。

(1) 2018年度に作られた「東浦町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」では、緒川地区を中心に221戸へ戸別訪問した、とある。また耐震診断後、一定期間経過しても改修していない129人に対し、ダイレクトメールを送って耐震化の促進を図っている。

しかし、2017年度の耐震化率は79.6%にとどまり、2018年度の耐震改修実績は1件で、2020年度耐震化率目標95%の達成は現実的に考え不可能に近い（下記表より）。

「東浦町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」の内容を踏まえ、以下に質問する。

ア. 耐震化が進まないのはなぜか。どういった理由が考えられるか。

イ. 愛知県建築物地震対策推進協議会で行われている、改修事業者に対する耐震改修工法等に係る講習を受講した事業者のリストを、耐震診断をされた住民に周知する方法をどのようにしているか。

ウ. 耐震化促進の周知普及で、2018年度に開催した「耐震改修相談会」の実施結果、また、説明会・セミナー等を今年度開催することとした理由は何か。

(2) 住宅所有者のうち、非課税世帯や高齢者のみの世帯などは、耐震改修が進みにくいと言われている。現在、本町では上限100万円の補助金が設定されているが、先に述べた世帯への補助費用上乗せを行うことはどう考えているか。

(3) 耐震化促進に向けて、木造住宅耐震改修費補助金を改修工事業者が受け取り、

残りの改修費用を住民が支払う、「代理受領制度」を導入することはどうか。

- (4) 現在、本町では防災ラジオの普及に向け隔年での販売を実施しているが、毎年行うことはできないか。また、今後の拡大普及をどのように取り組んでいくのか。
- (5) 「東浦町耐震改修促進計画」では、減災化促進に向けた取り組みも行うとしている。この中の、エレベーターに関する取り組みについて、エレベーター内の防災備品設置や、閉じ込められた場合を想定した訓練を行うなど、具体的な対応が求められると考えるがどうか。
- (6) 耐震化率向上と減災化による安心安全のまちづくりに向けて、さまざまな事業を所管課任せにすることなく、防災に関して横のつながり、「(仮称) 防災減災促進チーム」のように取り組む体制が必要と考えるがどうか。

年度	2017 年度実績	2018 年度実績	2019 年度目標
木造住宅耐震診断	25	38	30
木造住宅耐震改修	2	1	5
木造住宅解体	2	5	7
耐震シェルター	—	0	1
非木造住宅耐震診断	0	0	1
2012 年時点の住宅総数	うち耐震性がない住宅 棟数	2020 年度耐震化 達 成目標棟数	2020 年度 耐震化率目標
12,856 棟	3,350 棟	2,660 棟	95%

※「東浦町耐震改修促進計画」及び「東浦町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2019」より参照

3 投票所における社会的少数者（マイノリティ）への配慮を

今年4月に実施された統一地方選挙を通じて、社会的少数者への配慮を求める意見が2件届いた。一つは、男女別の投票受付の廃止、また、見た目と戸籍上の性別の一致を本人確認の要件から外すこと、もう一つは、身障者等の負担軽減に向けた投票所近くへの駐車場確保についてである。

このことへの早急な対応が求められるが、本町の現状と改善についてどう考えているか。

質問順位 7 1 番議員 大川 晃 (無所属)

1 投票率の向上について

投票率の低下が叫ばれて久しいが、住民にとって最も身近である町議会議員選挙において投票率 50%を下回ることは、望ましいことではないと考えます。

低投票率の要因は様々な理由が考えられますが、これ以上、低下しないように歯止めをかける必要があると考えますが、見解を伺います。

- (1) 有権者が投票所に行かない原因を知るためのアンケートを実施する考えがあるか伺います。
- (2) 期日前投票に行く割合が高まっています。現在の役場内の期日前投票所に加えて、住民が買い物などに行くついでに投票が行うことができるイオンモール東浦に投票所を設けることは、投票率を向上することに効果があると考えますが、イオンモール東浦内で期日前投票を行うためには何が支障となるか伺います。
- (3) 不在者投票について、今年のように選挙が続く場合には、まとめて「不在者投票等宣誓書兼請求書」の交付を依頼することはできるのか伺います。また、告示日（公示日）の何日前から交付を依頼できるのか伺います。
- (4) 高齢などにより足腰が悪い人や医療器具を装着しているため、投票所まで行くことに支障を来している有権者に対して、不在者投票の郵便投票制度の利用できる要件を緩和する考えについて伺います。
- (5) 投票所が遠く、歩いて行くことが難しい人に対して、本人が希望した場合にボランティアが投票所まで送迎する考えについて伺います。
- (6) 投票済証を提示することにより「う・ら・ら」に無料で乗車できるといった行政サービスを受けることができる考えについて伺います。

2 安心する避難所について

昨年 9 月 30 日台風 24 号が上陸する際に、東浦町で避難指示が発令され住民が避難されました。異常気象により今後も避難指示や警戒レベル 3 以上で高齢者などに対して避難行動を促すことも考えられますが、見解を伺います。

- (1) 車いすを利用した住民が、避難所に来た場合の受け入れ体制を伺います。
- (2) 独り住まいの高齢者に対して一人で避難所に向かうことは心配な面がありますが、町としてどう考えているのか伺います。

3 地元商工業者の育成について

東浦町で起業して事業を拡大していくためには、事業主がお客様から信頼されることは当たり前ですが、公共工事の受注実績があれば事業者にとってもお客様から信頼される一つの証となると感じています。そこで伺います。

- (1) 東浦町の公共工事等の一般競争入札に参加できる条件を伺います。
- (2) 東浦町で起業した事業主が実績をつくるために、例えば 500 万円以下の案件に対して東浦町に本店を置く事業主に限って、入札できる仕組みを作ることができ

ないのか伺います。

質問順位 8 8 番議員 水野 久子 (清流会)

1 町道吉田線について

町道吉田線は、大府市と森岡地区の市街地を結ぶ幹線道路です。周辺には、森岡小学校、森岡保育園、あいち健康の森等の施設があり、通学路における歩行者の安全を確保するため、歩道設置が行われてきました。健康の森東交差点から、村木神社付近までの整備が、平成 26 年度で完了しています。国道 366 号から、ゲンキ一東浦店北側の部分も拡幅が完了していますので、未整備部分は、260mほどになります。この区間は、道路近くまで住宅が密集している地域であり、細く S 字にうねった道路となっています。

令和元年度事業別説明書及び予算の概要によりますと、町道吉田線の調査設計委託として、詳細設計、路線測量業務等が予算として上がっています。

- (1) 元年度調査設計分（未整備部分）の計画及び今年度の計画について、それぞれの概要を伺います。
- (2) 森岡地区としては、長年に渡り地区実態点検で、森岡保育園付近の町道吉田線の整備を要望してきましたが、なぜ今この時期の予算計上となったのか伺います。
- (3) 計画図面には、森岡保育園の建物が拡幅計画と重なる内容となっていますが、現在の計画の段階で、保育園と道路との関わりを伺います。

2 防災、避難所に関するアンケートについて

平成 30 年 10 月、東浦町に住む知的障がい、発達障がいのある子どもを持つ親の会である「東浦町手をつなぐ育成会ふれんず」が、東浦町社会福祉協議会の地域福祉活動助成金を受けて実施する、ふれんずフェスティバルでの講演会を有益なものとするため、東浦町福祉課（現在は障がい支援課）と東浦町社会福祉協議会の協力を得て、会員の方を含めた知的障がい者（児）、発達障がい者（児）の方で、療育手帳の交付を受けている方（平成 30 年 9 月末現在）に、防災、避難所に関するアンケートを実施しました。

災害や防災に関する質問は、数多くされてきましたが、日頃、障がいをお持ちの方、その家族の方々は、いつ起こるかかわからない災害等を想定しつつも、防災や避難所に対して、どのようなお考えをお持ちなのか。

このアンケートの中から、特に気になった項目の回答を抜粋して伺います。

障がいのある方たちは、災害が起きた場合の避難所の位置確認はできているようですが、最初から避難所へ「行かない」や「わからない」の回答を合わせると、「行く」を上回ります。福祉避難所の場所や特徴も知らないように思えますが、見解を伺います。

○参考資料（東浦町手をつなぐ育成会ふれんず実施アンケートより抜粋）

アンケート配布数と回答率

配布数	343
回答数	196
回答率	57.1%

問、あなたは東浦町の「避難行動要支援者名簿」に登録していますか。

回 答	回答数	回答率
登録している	32	16.3%
登録していない	59	30.1%
登録の制度を知らない	100	51.0%
その他	4	2.0%
無回答	1	0.5%

問、あなたは災害が起きて避難指示が出た場合、避難所に行きますか。

回 答	回答数	回答率
行く	88	44.9%
行かない	16	8.2%
わからない	90	45.9%
その他	1	0.5%
無回答	1	0.5%

問、お住まいの地域のどこに避難所が開設されるか知っていますか。

回 答	回答数	回答率
知っている	164	83.7%
知らない	28	14.3%
わからない	1	0.5%
無回答	3	1.5%

問、福祉避難所がどこに開設され、どんな特徴があるか知っていますか。

回 答	回答数	回答率
知っている	49	25.0%
知らない	139	70.9%
わからない	5	2.6%
無回答	3	1.5%

3 東浦町景観条例について

平成 31 年 4 月、大型商業施設、イオンモール東浦がリフレッシュオープンし、連日大変なにぎわいです。さぞかし華やかかと思いきや、外装は、グレーや黒が基調で、暗く地味な印象です。購買意欲をかきたてる、家族みんなで楽しめる、何度でも行きたくなる色彩にしなかったのか、できなかったのか。ここで関係してくるのが、景観条例です。

景観条例は、平成 28 年第 4 回定例会において、議会の可決を経た後、平成 29 年 4 月 1 日より施行されました。

今後、景観の重点区域を指定していく予定の中、見解を伺います。

- (1) 平成 31 年第 1 回定例会において、令和元年度東浦町一般会計予算に対する修正動議が提出され、景観計画変更業務委託料の削除に係る修正案が可決されました。京都や小田原のような、城下町ではない東浦町に、重点区域の指定が必要なのか伺います。
- (2) 重点区域内において、個人の住んでいる住宅にも、規制がかかってくるようであれば、自由に新築や修繕等ができなくなることとなりますが、それに対してどのように住民に説明していくのか伺います。

質問順位 9 5 番議員 秋葉 富士子 (公明党東浦)

1 可燃ごみの減量化の取り組みについて

東浦町では、「ごみの減量化」、「住民負担の公平性の確保」及び「財政負担の軽減」を目的として、平成 30 年 3 月「東浦町家庭系ごみ減量化実施計画」を策定しました。そしてこの計画を基に、可燃ごみの排出量を計画策定時より 20%削減することを目標にごみの減量化を進めることとし、平成 31 年 4 月からごみ袋に処理手数料を上乗せする形で家庭系可燃ごみ処理有料化を実施しています。この事業に対する住民の関心は大変高く、今後も「東浦町家庭系ごみ減量化実施計画」を理解していただく粘り強い説明と、目的の一つである「ごみの減量化」を確実に進めることが住民から理解を得ることになると考え、特に可燃ごみの減量化について質問いたします。

(1) 可燃ごみの減量化のため、資源ごみとして活用する本町の取り組みについて

ア. 平成 31 年 1 月から羽毛布団を資源ごみとして回収していますが、状況と課題について伺います。

イ. 剪定枝は現在可燃ごみとして回収していますが、減量化の取り組みについて伺います。また剪定枝をリサイクルすることを提案しますが、考えを伺います。

(2) 生ごみの減量化・資源化のための「生ごみ処理機器の助成制度」について

ア. 本町では平成 12 年度から「生ごみ処理機器の助成制度」を実施していましたが、平成 29 年度で終了しました。その経緯と理由について伺います。

イ. ごみ処理手数料有料化に伴い、生ごみの減量化への住民の関心は高くなっており、「生ごみ処理機器の助成制度」の再実施を望む住民もいます。再実施についての考えを伺います。

(3) 最近では、ごみ減量化施策として 3 R「リデュース（減らす）・リユース（再利用する）・リサイクル（再資源化する）」にリペア（直して使う）・リフューズ（断る）を加えた 5 R が有効だといわれています。本町のリペア、リフューズの取り組みについて伺います。

(4) 「東浦町家庭系ごみ減量化実施計画」には、「可燃ごみの排出量を現状より 20%削減を目標にごみの減量化をすすめていく」と記述されています。この目標を達成するためには住民の理解と協力が不可欠だと考えます。そのための取り組みについて伺います。

ア. 本町の各種のごみの排出量と経費を住民がわかりやすい形で可視化し、年に数回広報等で報告することを提案しますが、考えを伺います。

イ. 住民が実施しているごみ減量化の有効な取り組みを情報共有することについて考えを伺います。

2 ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯への支援の取り組みについて

平成 30 年 3 月策定の「第 7 期東浦町高齢者福祉計画」によりますと、本町の高齢者人口は年々増加し、平成 29 年 10 月 1 日現在 12,521 人、高齢化率 24.8%となっており、全国平均を下回るものの、高齢化が進んでいること、そして、高齢者の増

加はひとり暮らし高齢者や高齢者の増加、認知症高齢者の増加につながるものであり、高齢者が安心して健康で暮らせる環境づくりのために、高齢者福祉政策をさらに充実させていくとともに、新たな課題やニーズに対応するための体制づくりが必要となると記述されています。

ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯への支援は本町の喫緊の課題と考え、今回は特に概ね介護認定を受けていない高齢者について質問いたします。

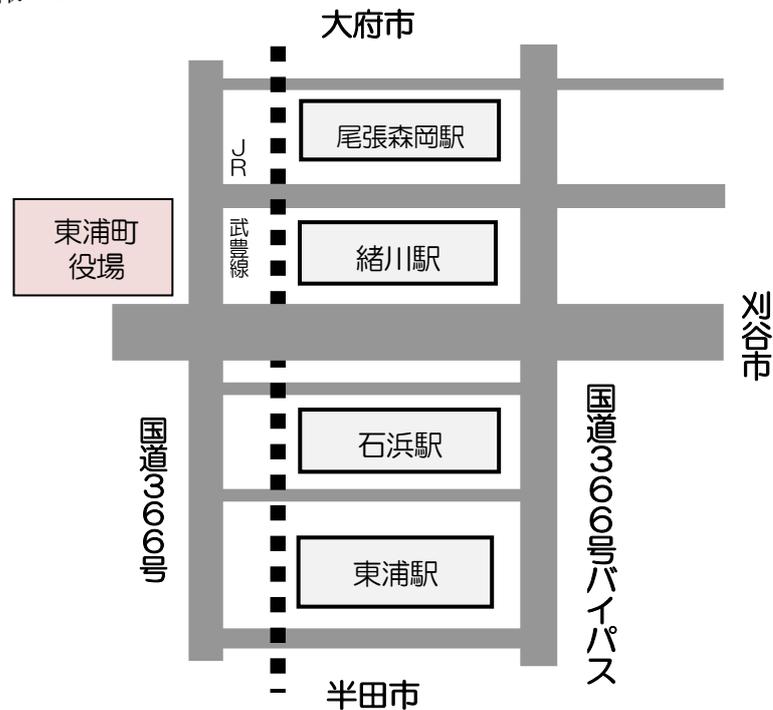
- (1) ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯への支援はどのようなものが必要と考えるか見解を伺います。
- (2) 支援の必要なひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯の実態把握の現状と課題について伺います。
- (3) ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯への具体的な支援について
 - ア. 日常生活援助の支援の現状と課題について伺います。
 - イ. 緊急時の見守り支援の現状と課題について伺います。
 - ウ. 移送支援の現状と課題について伺います。

質問順位 10 3番議員 田崎 守人（田崎守人）

1 道路・交通の東西軸の考えは

東浦町内の国道 366 号と国道 366 号バイパス間の通過車両は、通勤・帰宅時間帯に狭い道路に集中し交通事故が懸念されることから、以下についてお伺いします。

<< 参考情報 >>



▲東浦町のイメージ図

- (1) 地区別の「道路・交通」の東西軸について、本町の現状認識は。
- (2) 現状認識を踏まえ、問題点をどのように捉えているか。
- (3) 「道路・交通」の東西軸について、将来を見据えた本町の考えは。
- (4) 現在策定している「東浦町都市計画マスタープラン」との関係は。

2 路面の交通規制標示の改修は

町内の路面に標示される「止まれの文字」、「一時停止線」、「横断歩道の白線」など、道路交通法で規制されるものが劣化していることで、交通事故が懸念されることから、以下についてお伺いします。

- (1) 路面に標示される「止まれの文字」、「一時停止線」、「横断歩道の白線」などの劣化について、本町の現状認識は。
- (2) 日常的な維持管理をし、改修に繋げる考えは。

3 プラスチック製容器包装（資源ごみ）の回収回数の検討を

本年4月から実施した「ごみ処理手数料有料化」に伴い、プラスチック製容器包装（資源ごみ）の回収回数を検討する必要があると考え、以下についてお伺いします。

- (1) ごみ処理手数料有料化後、本町の現状認識は。
- (2) 近隣市町のプラスチック製容器包装の回収回数は。
- (3) プラスチック製容器包装（資源ごみ）の回収回数について、検討する考えは。

<< 参考情報 >>

	もえる ごみ	プラスチック製 容器包装	
		地区 ステーション	地区拠点 (役場は毎日)
回収 回数	2回/週	2回/月	2回/月

▲もえるごみ・プラスチック製容器包装の回収回数

質問順位11 14番議員 向山 恭憲 (親和会)

1 太陽光発電設備設置適正化の条例制定を

再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）に基づく固定価格買取制度が平成24年に創設されて以来、再生可能エネルギーの導入は着実に進み、中でも太陽光発電は全国的に拡大・急増しています。

一方で、専門的な知識が不足したまま事業を開始する者も多く、安全性の確保や発電能力の維持のための十分な対策が取られない、防災・環境上の懸念事項・問題事項等をめぐり、地域住民との関係が悪化する等、種々の問題が全国的に顕在化してきています。再生可能エネルギー発電事業計画を認定する新たな制度が創設され、「事業計画策定ガイドライン」が経済産業省から発行されて、再生可能エネルギー発電事業を適切に行うことが求められるようにはなったが、依然として地域住民とのトラブル発生は後を絶たない状況です。

本町、緒川新田地区の太陽光発電所建設においても、住民とのトラブルは解決をみないまま建設工事は進行し、緑豊かな里山は無残にも茶色の裸山と化し、山肌の急斜面に太陽光パネルが敷き詰められています。近隣地域住民の心痛は増すばかりです。

こうした悪しき状況がこれ以上本町で再発させない対策が是非とも必要であり、太陽光発電設備設置の適正化に向けたより実効性のある条例制定が是非必要と考えます。以下にその条例制定提案の一部を列記し、町としての所見・対応策を伺います。

- (1) 現行の「東浦町太陽光発電設備の設置に関する指導要綱」に基づく手続きを行った事案は当要綱制定後、何件あったか伺います。
- (2) 改正FIT法の下では、国に発電事業計画の認定申請をする前に、事業者にも町との事前協議や住民説明を義務付ける新たな基準や手続きの制定が可能と解釈されます。このことは、私が平成29年第4回定例会の一般質問で提案させて頂いた事項です。是非実現させて頂きたい事項の一つです。所見を伺います。
- (3) 同法では、事業者が条例に規定された手続きを順守しなければ認定を受けられなくなる内容であると考えます。所見を伺います。
- (4) 本町の指導要綱では、要綱の適用を受ける要件の一つに太陽光電池モジュールの水平投影面積が1,000平方メートルを超える設備としているが、当該設備に供される土地形状変更の面積、また発電出力も要件に加えた内容での条例にすることを提案いたします。所見を伺います。
- (5) 条例には、災害防止のほか自然環境や生活環境、周辺景観の保全、事業の運営や廃止などの基準も詳細に規定できると考えます。太陽光発電設備を設置できる地域のゾーニングを行った上での規制も可能であり、さらには罰則規定を設けることも可能と考えます。他の自治体ではこうした内容での条例が制定されている事例があります。所見を伺います。
- (6) 条例には、太陽光発電設備と自然環境・生活環境との調和・共生を図り、もつ

て良好な環境の保全と公共の福祉に寄与することを目的として、設置区域の自治会その他関係者との事前協議で知恵を出し合って妥協点を見いだし、トラブルの未然防止を図るきめ細かな内容を望みます。所見を伺います。

質問順位12 6番議員 米村 佳代子 (公明党東浦)

1 自転車の安全利用・自転車保険加入促進の取り組みについて

本年2月、藤江の国道で自転車に乗った小学1年生が、乗用車に衝突される交通事故がありました。また、藤江平根一区交差点でも、小学4年生が乗った自転車と乗用車の接触事故が発生しました。幸いにも、双方とも大事故に至りませんでした。が、住民より自転車の安全な利用のマナーが徹底されているか、自転車保険加入の義務付けがなされているかと、問われる声が多々ありました。そこで、伺います。

(1) 以前より、国道366号沿いで東浦中学校の生徒が通学時、交通事故に遭遇した等の話を聞き及んでいました。全中学校で3年間(平成28年度から30年度)の通学時及び下校後の自転車交通事故(転倒事故等含む)の事故件数を伺います。また、平成31年4月時点での全中学生の自転車保険加入の状況を伺います。

(2) 広報あいち5月5日号で「自転車安全利用5則を守ろう」『1. 自転車は車道が原則、歩道は※例外(※歩道が通行することができる道路標識等がある場合など)、2. 車道は左側を通行、3. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行、4. 安全ルールを守る。飲酒運転・2人乗り・並進の禁止、夜間はライト点灯、交差点での信号遵守と一旦停止・安全確認、5. 子どもはヘルメットを着用』と注意喚起され、万が一に備えて「自転車損害賠償責任保険等に加入」の呼び掛けがされています。小中学校で、上記の交通安全教育の徹底や、ルールの意識啓発の取り組みが実施されているか伺います。

(3) 近年、自転車で事故を起こした加害者に対し、高額な賠償金を命じる判決が少なくありません。

近隣市町では、知多市で平成28年4月1日に「知多市自転車の安全利用に関する条例」が制定されました。

自転車(加害者)と歩行者(被害者)による事故の際、被害者が十分な補償を受けられるようにするためにも、東浦町でも同様の条例制定の取り組みを提案しますが、所見を伺います。

2 新生児聴覚検査(スクリーニング)の取り組みについて

新生児聴覚検査により、1,000人に1人から2人の割合で先天性難聴が見つかります。

厚生労働省より、平成28年3月、新生児聴覚検査の実施について、「聴覚障害は早期に発見され、適切な支援が行われた場合には、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために、全ての新生児を対象として新生児聴覚検査を実施することが重要である。」、又、「市町村は、新生児に対し新生児聴覚検査が実施されるよう取り組みを行うよう努めること。新生児聴覚検査に係る費用について公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減をはかること。」との通知が出されています。

(1) 東浦町の新生児聴覚検査受検の把握状況及び検査体制拡充の取り組みを伺いま

す。

- (2) 近隣市町で、新生児聴覚検査に対する助成事業を実施している自治体を伺います。東浦町で新生児の聴覚障がいをも最小限に抑えるためにも、早急に新生児聴覚検査助成事業制度創設を求めますが、所見を伺います。

3 障害者手帳のカード化について

障害者手帳は運賃割引を受けるため、公共交通機関に乗車する際、また、博物館・美術館等、公共施設の多くで入場料割引を受ける際に手帳の提示を求められます。しかし、以前より「財布に入らず、持ち運びが不便」といった声が上がっています。厚生労働省は平成31年4月、身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳の様式を定めた省令を改正しました。新たに当事者が希望すれば、カードでの交付が可能となります。カードは、プラスチック等で耐久性のある素材を使用し、運転免許証と同じ大きさで、カードの縁に1cmほどの「切り欠き」を入れ、「点字シール」を張り、視覚障害者が触れて分かるような仕様とすることと、記載されています。

制度改正の障害者手帳カード化導入は、自治体判断に委ねられるとしています。利用される方の立場に立ち、障害者手帳のカード化を推進し、早期に発行開始を求めますが、本町の取り組みを伺います。

4 東浦町住民のパスポート（旅券）の申請・交付窓口設置について

愛知県では平成24年4月から、市町村へ旅券事務の権限移譲の取り組みが始まり、知多旅券コーナー（半田市）は、平成31年3月末で閉設されました。

知多旅券コーナー閉鎖に当たり、東浦町を除く知多5市4町が、住民の利便性向上を図るため、パスポートセンター（旅券事務窓口）を市町単独、または共同で知多管内に開設しました。

そして、知多5市5町の中で東浦町のみ、パスポート申請・受取窓口が、愛知県旅券センター（名古屋市中村区、岡崎市、豊田市）の利用となりました。

- (1) 平成28年度から30年度までの3年間、東浦町のパスポートに係る手続件数（新規、切替、氏名変更等）の実績を伺います。

- (2) 住民より、交通費や移動時間の負担が軽減され、近隣市町同様に地元知多管内での利用に向け、できるだけ早い時期に利用開始を望む声が多くあります。衣浦定住自立圏3市1町及び知多5市5町の中で、東浦町のみが愛知県旅券センターの窓口になった理由を伺います。

また、住民サービスの向上が図られるため、より身近な地元知多管内のパスポートセンターの利用開始をとの住民要望の声に対し、町の所見を伺います。